

I PROG-Hを受験してみよう

2年生のみなさんは1学期に「学びみらいPASS」のPROG-Hを受験しました。概要は下の枠内をご覧ください。その刈谷高校全体成績から、刈高生の秀でた分野ともしっかり伸びてほしい分野がわかりました。リテラシー分野とコンピテンシー分野に分けて説明します。

PROG-H (Progress Report on Generic Skills)

高校・大学生活やその先の社会人になってから必要とされる汎用的な能力である「ジェネリックスキル」を測定する。新しい問題に対して知識を活用して課題を解決する力であるリテラシー、人と自分にベストな状態をもたらそうとするコンピテンシーという2つの観点で測定する。

○リテラシー分野

・集めたさまざまな情報を、客観的に正確に分類し、読み取る力である「情報分析力」に優れています。探究基礎、課題研究に前向きに取り組んでいる成果だと考えます。あふれる情報の中から必要なものを選択し、活用することが重要です。授業、課題研究等は当然として、普段の生活からも意識してみましょう。例えば、「東京大学に入学したい」という目標を持てば、おのずと東京大学に関する情報が目に留まります。そういう意味でも第一希望を大事にしてほしいと思います。

・合理的、論理的に思考を巡らせて課題を見つける力である「課題発見力」をもっと伸ばすとよいでしょう。2年生は課題研究で経験しているのでよくわかるのではないのでしょうか。「主体的に課題を追究して解決する能力」の重要性は、今の時代盛んにいわれています。まず自分の気になる「なぜ」をとことん追究してみたいかがでしょうか。

○コンピテンシー分野

・物事に対して、最後まで粘り強く責任を持って取り組む力である「行動持続力」、課題解決に向けて自ら行動する「実践力」に優れています。普段の君たちの学習姿勢、行事や部活動に取り組む姿勢を見ていて納得ができます。まさに「質実剛健」な力ではないのでしょうか。これからも継続して何事にも一生懸命取り組んでください。

・仲間と信頼関係を築く「親和力」、自分の気持ちをコントロールする「感情制御力」をもっと伸ばすとよいでしょう。「親和力」を伸ばすためには、まずは「困っている人に声をかける」ことから始めてみてはいかがでしょうか。愛知の県立高校では最大級の人数がいる刈谷高校です。みんなが前向きに暮らせるように、まず困っている人に声をかけ、人間関係の輪を広げていけるとよいと思います。「感情制御力」については、ストレス解消法を探すとよいでしょう。これをやればストレスを忘れられる、といったことを見つけてみましょう。また、困ったら誰かに話すようにしましょう。折しも、1学期末に発行された『ほげんだより』、『相談室だより』にも同様のことが書いてありました。以下に引用するので参考にしてください。私は、悩みは人に話すことで半分くらい解決する、と思っています。

・ほげんだより : ちょっとだけいいから「苦しい」を教えてください。信頼できそうな大人に話してみよう。

・相談室だより : だれかとながら。相談する。信頼できる人(話を聞いてくれる人)に自分の気持ちを話す。

変化が激しい今の社会では、教科の学力だけでこの先の社会で勝負するには限界があります。もちろん、教科の学力は「基礎体力」のようなものなので、真剣に学び続ける必要があります。「基礎体力」に加えて「応用力」を高校生から身に付けることが求められています。その「応用力」を測ろうというのが「学びみらいPASS」です。ただ、「応用力」は身に付けようと思って身に付けられるものではなく、普段の生活の中で身に付くものです。昨年度副担任をしていたクラスで「君たち刈高生は『学業』、『部活』、『行事』と『全部乗せ』を実践していて素晴らしい」と常々伝えていましたが、「質実剛健」、「文武両道」を地で行く刈高生は、高い「応用力」を身に付ける環境に身を置いているのです。むしろもう「応用力」を身に付ける行動を実践していますね。あとは今以上に高い意識で学習、部活、行事に真剣に取り組んでみてください。

2 実力テストについて

(1) 10月27日(水)、28日(木)実力テスト

10月末に1、2年生にとっては年に1度の実力テストがあります(4、9、1月は課題テスト)。実力テストは、模試とは違って先生たちが刈高生をしっかりと観察して丹精を込めて作問しているテストです。また、解答もじっくりと吟味し、生徒のできを肌で感じとり、生徒一人ひとりのその後の指導に生かしています。そして、テスト後には『講評』を配付するのも特徴です。厳しくも温かいメッセージが込められ、みなさんの学習の指標になっていると思います。大事なテストですから中間考査から2週間後という忙しい日程ですが、体調を整えて、しっかりと受験してほしいと思います。

「進路の手びき」の『5 合格者校内実力テスト成績』、『6 大学別合否一覧表』は読みましたよね?先輩たちの9、10月実力テストの成績を活用させてもらい、わかりやすい表を作成しています(3年生9、10月実力テストは重要な資料になっています)。みなさんの励みにもなっていると思います。これを機に「進路の手びき」を読んでみてください。

(2) 伝統の力

進路指導室に保管してある最も古い昭和43年の「進学の手びき」をみても、校内実力テストの成績を利用した大学合否一覧表が掲載されていました。実力テストは刈谷高校の伝統として長きにわたって実施され、活用されているということがわかります。みなさんも「進路の手びき」を通して、先輩方が残してくれた『伝統』を活用し、進路希望の実現に役立ててください。約10年分の「進路の手びき」を閲覧用として進路指導室前に常置してあります。ぜひご覧ください。そして、みなさんが卒業したときに、大学合否一覧表の○印が一人でも多く載ることを期待しています。

3 西三テスト結果について

2年生のみなさんは7月に進研模試を受験しましたが、その模試は「西三テスト」も兼ねています。1月に受験する進研模試は2年生第2回西三テストとなっています。西三テストは「生徒や教員の進路意識を高め、地域ぐるみの進学指導の強化を目的」として始まり、現在では70年以上も継続して実施されています。進研模試の全国成績を主に参考にしますが、表1のように長年蓄積された西三テストの成績も参考になるのではないのでしょうか。もちろん、いまの模試の結果では〇〇大に行けない、と決めつける必要はありません。学習が積み上がってくるにしたがって成績が大きくなり、必ず復習をしてください。また、模試の結果をみて、長所短所を把握してください。11月の模試からは理科や地理歴史も受験することとなります。少しずつ大学入試を見据えてください。

表1 西三順位の目安表

西三順位 (国数英総合)	
1	
50	東京大
100	京都大
500	名古屋大 (文系)
800	名古屋大 (理系)
1000	
1200	名古屋工業大 名古屋市立大
1500	愛知教育大 愛知県立大
1800	岐阜大・三重大 静岡大
2000	地元国立目標 ライン
2500	国立大目標 ライン
3000	国立大挑戦 ライン
4000	

*ベネッセコーポレーション作成

4 その他連絡

(1) 2年駿台ハイレベル模試【10月16日(日)実施】の募集は9月22日(木)17時までです。希望する人は申込票を進路指導室前の封筒に入れてください。

(2) 11月5・6日、1月14・15日、1月28・29日に模試を受験します。

(3) 「進路の手びき」の訂正

※12ページの第2学年進路方針の11月の欄に「ベネッセ総合学力テスト」が入ります。申し訳ありませんが、訂正をよろしく願います。(文責 進路指導主事 岩崎 達哉)

参考資料

『学びみらいNOTE～未来に必要な力を伸ばそう～』(河合塾)、ベネッセコーポレーション各種資料
2022年度西三テスト成績と大学受験結果対照表

第一希望を最後まで貫こう!